



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区まちづくり協議会

連絡先
志津南市民センター (563-6206)

まちづくり協議会が一部組織改正

本部構成員から理事を除外

町並み保存委は本部へ移行

まちづくり協議会は1月の理事会で、一部組織改正について審議、次のように決めました。4月28日の総会に諮り承認されれば施行されることとなります。

①委員会の名称変更

「ふれあい実行委員会」を、下部組織である「夏まつり実行委員会」との混同を避けるために、「ふれあい推進委員会」とする。

「人権教育委員会」は、自ら教育を行う組織ではなく、教育の推進を行う組織であるため、「人権教育推進委員会」とする。

②グループ構成団体の追加と削

③グループの廃止と名称変更
「若草地区町並み保存委員会」は、志津南地区全体ではなく、若草地区に限定した活動を行う組織であるため、環境保全

④本部の構成員から理事を除外
本部の構成員を理事全員としている現行の仕組みは、理事会と同じ構成となっており重複しているところから、本部は会長、

子ども育成グループに「少年補導委員会」を加える。
ボランティア団体やNPO法人は、まちづくり協議会の規制を受けないため、「ボランティア・スクールガード」と「NPO若草の家」をグループ構成団体外から外す。また、「志津南公民館」は行政機関であるため削除する。

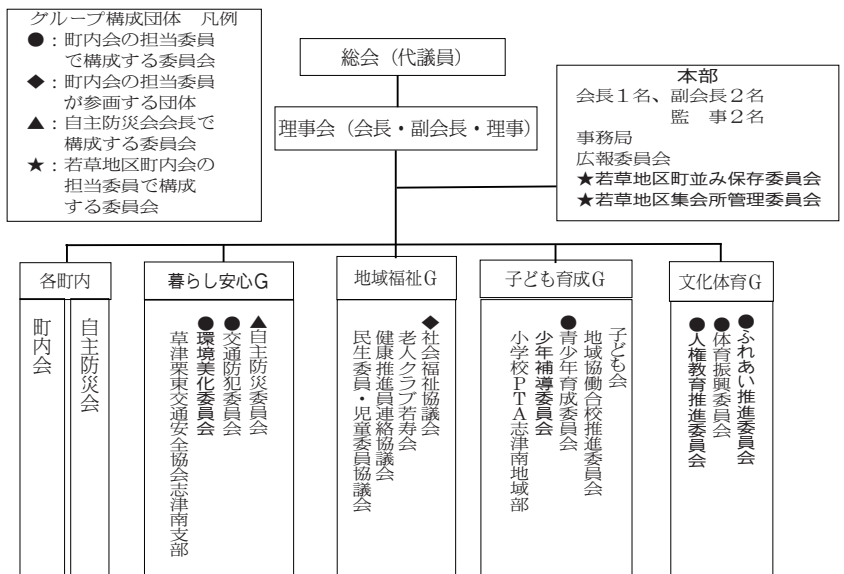
グループから外して、本部の一部局とする。その結果、環境保全グループは「環境美化委員会」だけとなるので、「環境美化委員会」を暮らし安全グループに移し、環境保全グループは廃止する。

まち協だより

第10回理事会(25年2月2日)

- ①平成24年度のまちづくり協議会の会計から200万円を若草地区集会所基金へ繰り入れることが了承された。
- ②平成25年度の会長および監事について、現会長および現監事の留任が了承され、4月28日の総会に付議することとなった。
- ③平成25年度の予算に関する「予算調整会議」を、新会長予定者、新副会長予定者2名、新町内会長からの理事予定者から2名、現理事からの希望者1名、計6名のメンバーで実施することとした。
- ④平成25年度の各会議の日程について調整し、第1土曜日に理事会、第2土曜日前後に各委員会、第3土曜日前後に各町内会役員会、第4土曜日前後に各グループ会議を開催することとした。
- ⑤まちづくり協議会の会則の改正案が提示され、次回に協議することとした。

志津南地区まちづくり協議会組織図(改正案)



副会長、監事、事務局および広報委員会で構成する組織とする。

⑤本部の一部局として「若草地区集会所管理委員会」を置く
従来の「集会所管理委員会」を、若草一丁目八丁目町内会長で構成する「若草地区集会所管理委員会」として再編し、「若草地区町並み保存委員会」と同様に、本部の一部局とする。

子ども会資源回収

- 3月17日・4月7日 若草一丁目～五丁目
- 3月24日・4月14日 若草六丁目～八丁目
- 岡本町西・グリーンピア回収品
- 古新聞(チラシと一緒に)
- 古雑誌・段ボール・古着
- ☆朝9時までに自宅前へ

特別委員会「答申書」説明会開催

まちづくり協議会は3月3日、昨年12月に提出されたまちづくり行動計画特別委員会(向井信一委員長、5人)の答申書について、新理事予定者を含めた説明会を市民センターで開催しました=写真。

同協議会の1月の理事会で、答申の説明会を開催して欲しいとの要望が多数あったため



開催したものです。

新理事予定者の皆さんには、開会前に、まちづくり協議会の仕組みや行動計画特別委員会に諮問した経緯などを説明した上で、説明会に臨んでいただきました。

説明会は午前10時から2時間、資料に基づいて行われたあと、個別に質疑応答が行われました。

今後、まちづくり協議会の理事会において、答申書で提言された事項について議論をし、住民の皆さんのご意見も伺いながら進めていきます。



訓練で放水する岡本町西の住民ら

岡本西が自主防災表彰受ける

避難、消火の抜き打ち訓練に高評価

岡本町西内会自主防災会は1月6日、草津市役所で開催された「平成25年草津市消防出初式」(第一部・式典)において、優良自主防災会組織として、草津市長表彰を受けました。

これは、平成24年10月21日に町内の公園で実施した消火訓練

と避難訓練に対して好評価をいただいたものです。訓練は抜き打ちで行ったもので、消防車による避難指示の広報をしていただき、仮想避難場所までの導線において負傷者の救助訓練を実施した後、公園で消火器による消火訓練及び消火

栓器具の取り扱い訓練(消防車を使用して放水を演習)を実施しました。

訓練には、町内から子どもを含めて約50人が参加しました。

火災が発生した場合、消防車が到着するまでの初期消火こそが重要であり、自分たちの町内は自分たちで守らねばという思いを強くしました。

昔の遊びを楽しく

昔の遊びを楽しもうと、2月6日、志津南小一年生84人と若寿会を中心に地域の方々16人が参加しての昔遊び交流会が志津南小学校体育館で開かれました

写真。コマ回し、だるまおとし、お手玉、けん玉、おはじき、羽根つきなどのコーナーに分けら



れ、子どもたちは先生の笛を合図に順々にまわり、昔から伝わる遊びを一緒に楽しみました。

けん玉のコツを教えてもらった子どもが、いくつかの技ができるようになったり、ひもで回すコマができるようになったりと、教えてもらったことが上手に出来るで大喜びでした。また、おはじきでは子どもから違うルールを教えられる場面もあり、やり方がいくつもあることを知りました。

数日後、子ども達から感想や感謝の気持ち、また次の機会を期待する気持ちなどが書かれた冊子が届き、楽しかった様子が伝わってきました。

子どもたちが野菜料理

志津南地区健康推進員連絡協議会は2月23日、「子どもたちに野菜をおいしく」をテーマに野菜たっぷりの料理講習会を開催しました。



親子2組と料理好きな子どもたち4人、あわせて17人が参加しました。

- メニューは
- ・野菜ミルクリゾット
- ・野菜たっぷりのミートルーフ
- ・フランジユ黄桃かざり

緑化ボラが活動開始

緑化ボランティア(降矢義夫代表、18人)写真が2月12日、活動を開始しました。当日は青空のない寒い日でしたが、今年最初の活動とあって18人と多数が参加、熱気あふれる作業を行いました。



今回は中央公園の西側を中心に雑草と木の枝を切り落としました。

緑化ボランティアは社会福祉協議会活動の一つとして取り組んでいる団体で、各町内の活動で処理しきれない場所などの環境整備に取り組んでいます。

今年中央公園、一丁目バス停周辺、むれやま登山口の坂道などを中心に若寿会、一味会などと連携を取りながら活動を進めたいと考えています。

作業日は毎月第一火曜日朝9時から中央公園倉庫前に集合、約2時間の作業です。

その後は、ふれあいハウスでコーヒーを楽しみながら懇談することになっています。

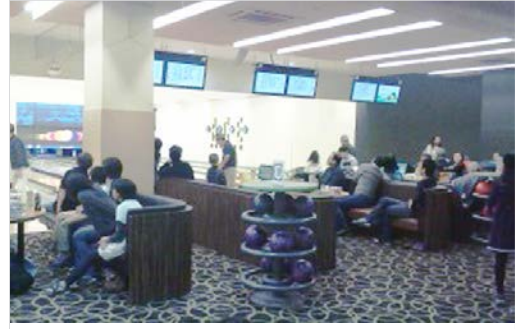
参加者は常に募集していますので毎月第一火曜日に来て下さい、歓迎です。

の4品です。子どもたちは包丁を上手に使い手際よく調理に取り組みました。「トマトが嫌いだったけど、今日はスープに入っていたのでおいしく食べられた」とうれしい一言。また高齢者の方からは「残ったご飯も牛乳を入れてリゾットにすればおいしいんだね」と、新しいメニューを覚えてくださいました。

和食が多い料理講習会ですが、今回の野菜いっぱい洋風料理は好評でした。

体振が第1回ボウリング大会

個人戦競技に50人がウデ競う



志津南体育振興委員会は2月17日、南草津駅近くのボウリング場で第1回ボウリング大会を開催しました。写真。

今回の行事は地区独自の取り組みとして、時節柄室内で楽しめること、今までに取り上げたことのない種目であること、などを考慮して決めました。

ボウリングといえば団塊の世代にとっては青年時代に一世を風靡したスポーツ。10レーンを貸し切り、50人の参加者が町内

別対抗という枠を外して個人戦競技として実施しました。

また、小学生の競技はカタールなしとしたので達成感を味わってもらえたのではないのでしょうか。

昔とは違い得点計算はコンピュータ任せ、表示もすぐにされるので競技に集中できます。競技中には軽食でエネルギーを補給してもらいました。一投ごとに歓声が湧き上がり楽しいひと時のうちに全員の競技が2時間半で終了。好成績の方々を表彰和気あいあいのうちに今年度最後の行事を終えました

2ゲームトータルで最高得点

は成人男子371点、成人女子352点、小学生210点でした。

隣人関係が希薄になる中、誰もが気軽に参加でき健康増進や地域の交流につながる行事を地

第9回やすらぎ学級

志津南市民センターのやすらぎ学級第9回講座が2月27日、同センターで開かれ、学級生33人が参加しました。写真。

今回は、交通安全をテーマとし、草津・栗東交通安全協会のみなさんと「わかばチーム」(草津市都市建設部交通政策課)のみなさんをお招きしました。



域主体で実施していくことが今後とも望まれるところだと思えます。

(体育振興委員会)

言葉の葉こぼれ話

翻訳の苦勞

翻訳家が一番苦勞するのは固有名詞の訳だそう。素人は「固有名詞なら訳さなくてもいいから楽だろう」と思うかもしれませんが、それがなかなか容易ならざるのです。ありふれた地名なら世話はありません。日本は原音主義を採っている、ウィーン、ミュンヘン、フィレンツェ、ヴェネツィアな

どと訳せばいいのです。しかし、シェイクスピアの「ヴェネツィアの商人」とはできません。コンスタンチノープルも、今はイスタンブールですがそれは論外として、ルネサンス期のヨーロッパ諸国がそういう英語読みをしていたとは思われません。悩ましい限りです。

人名も同じで、スペイン王を「フ



ス大帝」と訳したら落第です。以前「セント・ピーター」という訳文と出会ったことがあります。ここは「聖ペトロ」として知らなくては困ります。しかし、ローマの「サン・ピエトロ大聖堂」、ロシアの「ペテルブルク」はこの読み方に決まっています。「ペテルブルク」の由来について「ピーター大帝が聖ペテロに捧げた」と書いてある本がありました。ペテロはプロテスタントが使っていた呼称ですが、最近はカトリックと同じ「ペトロ」に

統一されています。それよりも「ピーター大帝」が正しい。ややこしいことです。

読みが分野や時代で違うのも困りものです。聖書では「ヨハネ」ですが、最近の教皇の名前は「ヨハネス」です。「ヨアンネス」と訳されている16世紀の学者もいます。この同じ名前が「ジョバンニ」「ファン」になったりするのはご存じのとおりです。

翻訳家は人知れぬ苦勞をしているのです。

「言葉の葉こぼれ話」今月号で終了します。文と絵は村井由美子さん(若草3丁目)でした。



若草第一集会所を拠点に毎月1回定例会議を開き、ほとんど知らなかった町内の防災設備や資機材などの確認や、日常生活の中で安否確認できる範囲での情報交換し、共有化することになっています。

自主防災会の支援や環境美化活動など建設的な意見交換が行われています。

第二集会所にエアコン

若草第三集会所は二階にはエアコンが設置されていますが、一階を利用されている幼い子どもさん達の部屋にはエアコンがなく、有志が寄贈されたガスストーブやオイルヒーター、扇風機などを使用されていましたが、機器の老朽化により危険な状態となっていました。

集会所を管理されている若草三丁目町内会からエアコン設置の要請を受け、2月14日に工事を終え、快適な環境のもと子どもさん達は活動されています。

「みまわり隊」

若草1丁目にボランティア「みまわり隊」(大倉清廣隊長)が昨年12月に発足しました。

防犯活動を中心に安心、安全の町内を築くことを目的に10人が集まり、年末の29日から31日の3日間、以前は各町内とも交代で行っていた「火の用心」巡回パトを復活させました。写真。



- 3月16日 (土)
 - ☆健康ウォーキング (若寿会)
 - 8:45 若草中央公園集合
- 3月19日 (火)
 - ☆志津南小学校卒業式
 - 9:15~11:00
- 3月20日 (水・祝)
 - ☆若草くすみ保育園卒園式
 - 10:00~11:00
- 3月23日 (土)
 - ☆社会奉仕
 - 8:30 若草中央公園集合
- 3月27日 (火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
 - 10:00~11:00
- 3月30日 (土)
 - ★若寿会総会
 - 13:00~15:00
- 4月5日 (金)
 - ★ふれあい昼食会
 - 12:00~13:00
 - ボランティア「泉」
- 4月6日 (土)
 - ☆健康ウォーキング (若寿会)
 - 8:15 若草中央公園集合
- 4月9日 (火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
 - 10:00~11:00
- 毎週金曜日
 - ふれあい喫茶
 - 10:00~12:00
 - 五丁目集会所

★印の会場は志津南市民センター(公民館)です

地区内まめバス 今月で運行停止



平成21年10月から実証運行が行われていたまめバスは、持続可能な運行形態を探るため、路線の再編、予約制バスの導入、運行経費削減などの検討が行われてきました。この地区では、若草一丁目と市民センター横にバス停が設置され、滋賀医科大学付属病院に行くために利用されていたようです。

ところが、全体で25割に設定されていた平成24年度の目標収支率(運賃収入/運行経費)がこの目標収支率に及ばず、また利用者の増加傾向が見られなかった「志津ロクハ線」と「老上線」の2路線が3月末で休止されることになりました。これに伴い、若草一丁目と市民センター横のバス停はなくなりま

元気よくもちつき

地域協働学校・わんぱくプラザ南っ子の今年度最後の事業「もちつき大会」が2月16日、志津南市民センターで行われ、子どもたち64人と地域の協力者、保護者ら60余人が参加しました。写真。



朝から雪がちらつく天候の中、子どもたちは元気よく地域の方たちの指導のもと、もちつきを体験しました。大きい杵を持ちながら一生懸命もちをついたり、小もちをまるめたりして子どもたちには貴重な経験となりました。

ふれあいコンサート

志津南地区社会福祉協議会主催の「ふれあいコンサート」が2月24日、志津南市民センターで開かれ、参加者50人余りがピアノ演奏やカラオケを楽しみました。

第一部のピアノの調べでは、岡本地区にお住まいの高瀬佳代子さん(社会福祉

委員)のピアノの音色で幸せなひと時を過ごしました。映画音楽に聞き入り、ピアノ伴奏で「花は咲く」「琵琶湖周航の歌」などを楽しく合奏しました。

第二部はカラオケで、志津南市民センター「カラオケサークル」に懐かしい曲を選曲していただき、合奏しました。

参加者の顔には、笑みがこぼれ、集いあう喜びに満ちていました。



折々の記



健康には運動だ、食事だと本や情報があふれていますが、最近笑顔・笑いの医力というのが加わり笑いの教室まであるらしい。珍しい笑いの話を聞く機会が2回ありました。

一つは「ほほえみ処方箋」でした。医療現場で患者力を高めるべく癒しの「笑いの療法士」を育てようと活躍されている「笑医塾(わらいじゅく)」塾長の医学博士・高柳和江先生

ほほえみ処方箋

ほほえみあいました。涙目でにっこり

また「笑いヨカ」の講話はつきりヨカ体験かと決め込んでいたら、笑顔セラピスト西村ますみさんの指導の一つ。友人とペアでお互い目と目を見つめあってホッホッ、ハハハ、イエーとかけ合うと何故かおかしな涙は出るし、汗まじかいて大笑い。酸素が全身を駆け巡ったようで羞恥心もどこへやら。笑いで病知らずに過ごしたいものです(願い)。

母のタンスを整理していた時「小春日や近江より来る娘(こ)の便り」の短冊を胸に白布に包まれた可愛いほほえみをたたえた「おちよた」と70年ぶりに対

は声を出して笑うとNK(ナチュラルキラー)細胞とかが活発になり脳の活性化、肩こり、腰痛を軽減し、認知症、信じがたいが癌を退治する効果があると。時折スクリーンに愛らしい赤ちゃんや子犬や笑顔が映し出されると会場は大きな笑い声に包まれました。私は血行促進、血圧も正常値以下になった気がしました。また人の良いところを見つけたほめあうこともお互いにNK細胞が活発になり免疫効果が上がるとか。1日5回笑って、5回感動しようと言われた。いいことづくめですね(希望)。

背丈70センチ、振り袖姿の「おちよた」は私の初節句のひな壇脇に添うように立っていた市松人形です。義妹のすすめもあり持帰り我が家で2度目の節句も近くなりました。このほほえみをみていると「笑う門には福来る」のことわざのように笑顔は人を不快にしないから「いつも笑顔で」と親によく言われたことを思い出しました。

震災・原発・不況等々きびしいことの多い今の日本。笑うことは生きることか。だから「ほほえみ処方箋」が必要なのかもしれません。

(春待ち乙女)